交流

発行日:平成24年8月1日 第13号

福島日中文化交流会　事務連絡先
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5
TEL/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275
Email:mayumi_mihojp@yahoo.co.jp
URL:http://www.rizhongwenhua.com

平成 24 年度定期総会開催

石川孝彦

（総会の様子）

福島日中文化交流会の平成24年度定期総会は6月9日午後6時より古関祐而記念館で開催されました。

司会の斎藤佐久男さんの開会の挨拶のあと、顧問の高橋重夫さんが「当会が発足して 5 年、中国語会話教室をメインに花架拳教室、健康マージャン教室、日本語教室などの活動が活発に行われており、また、県や市の国際交流協会の諸行事にも積極的に参加し当会の存在が世間的にも認知され会としての体裁が年々整えられ充実してきたことは誠に喜ばしい限りです。これも岩間真弓代表幹事、斎藤佐久男副代表幹事をはじめ役員、会員の皆様の日頃の当会を思うご熱意、ご努力の賜物であるとおもいます。

翻って日本と中国の国と国の関係の実情をみますと一昔前のようにニーハオ、ニーハオだけでは済まされない国家間の利害がぶつかり合いギスギスした問題もしばしばおきるようになってまいりました。しかし国家といっても基をただせば個人の集まりであります。人と人との心の問題が大きいと思います。

高橋重夫顧問）

人と人との友好的な交流こそがその一つ一つはささやかなものであっても大きな力になるのではないでしょうか。このような意味で当会の果たす役割はますます重要になっております。どうか今後とも個人レベルのよりよい日中友好関係を皆様と一緒に築いてまいりましょう。」と挨拶された。

（岩間真弓会長）

次いで、会を代表して　岩間真弓代表幹事が「今年は、日中国交正常化 40 周年、中国語会話教室開設 20 周年の節目の年にあたりますので、これらのことを念頭においてに一言ご挨拶いたします。昨年度を振り返って見ますと東日本大震災のため当会の活動

も一時影響を受けましたが、中国の皆さんの励ましの声、当会の皆さんのご協力により滞りなく諸事業をおこなうことができました。昨年度の当会の活動の中で特に目に付くものを幾つかあげてみますと①中国語会話教室に小学生 2 人、中学生 3 人が母親の母国語を母親とともに熱心に学習している姿が見られ、ほほえましい光景だとおもっています。会としても今後ともこれら青少年の学習環境を整えて行きたいとおもいます。②11 月には山尾展正団長率いる中国語学習団 14 名を中国人民大学に派遣することができました。大震災の年であるにもかかわらず例年どおり学習団を成功裏に派遣できたことをうれしく思っています。これも人民大学の張国造先生のご尽力やこれまで培ってきた友好の力が大きかったと思います。③10 月には中検フォーラム会員の集いに出席、日本における中国語教育について話し合ってまいりました。④11 月には福島県華僑華人総会設立式典に来賓として招かれました。⑤年末には福島県上海事務所の依頼を受けて香港の雑誌者「明日風尚」の震災後の福島についての取材をひきうけました。⑥そして本年 3 月には中国駐新潟総領事館主催「国際婦人デー記念レセプション」に参加してまいりました。⑦その他、県・市の国際交流会と連携して日中友好を促進する各種事業にかかわってまいりました。

さて、今年は日中国交正常化 40 周年の年にあたります。１９７２年９月日本国首相田中角栄と中国国務院総理周恩来とが北京で話し合い、これまでの両国間の不正常な関係に終止符を打ち国交を回復いたしました。中国には「水を飲むときに井戸を掘った人のことを忘れてはならない」ということわざがありますがその後、官民を問わず日中友好活動にご尽力された方々のことに思いをはせ、先人が築いてきた友好の絆を崩さないようにしたいとおもいます。

そして、国交回復２０周年の年、熱心に日中友好事業を推進されていた邉見正治先生、高橋重夫先生、大内照雄先生等のご指導のもと東京都大田区日中友好協会のご協力により中国語会話教室が設立されました。以来今日まで延べ１５００人以上の方がこの教室で中国語を学習し、多くの人材を輩出してまいりました。本年度は　通常の活動のほか日中国交回復４０周年、中国語会話教室設立２０周年の記念の年にふさわしい心に残る活動を行いたいと思っております。

会員の皆様のますますのご健康とご多幸を祈念し今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。」と挨拶しました。

つづいて公益財団法人福島県国際交流協会および福島市国際交流協会からの祝電が披露されました。

（渡辺永治議長）

次に、総会の議長の選出を行い、渡辺永治さんが選出され議長席につきました。総会は本人出席３０人、委任状出席５８人で会員総数１０９人の過半数でその成立を確認しました。議事審議にあたっては岩間真弓代表幹事が平成２３年度活動報告、会計決算報告を行い、福嶋冨士雄監査が適正に会計処理されている旨の会計監査報告を行いました。活動報告、会計決算報告とも満場一致で承認されました。

（福嶋富士夫理事）

ついで岩間真弓代表幹事が、平成２４年度活動計画と会計予算について説明しました。特に活動計画中

「第６号議案役員の改選について」は、本人の都合等により大須賀ミチ子幹事が辞任し後任に坂本砂知さんを推挙し、福嶋冨士雄監査を幹事とし後任に猪股宗男幹事を監査とする案および対外的に理解されにくい「代表幹事」などの役職名を改正し「代表幹事」を「会長」とし「副代表幹事」を「副会長」とし、「幹事」を「理事」とし、これに伴い会則も所定の箇所を改定するとの提案説明がありました。審議の結果提案のあった活動計画および会計予算は満場一致で承認され、渡辺永治議長は閉会を宣言し斎藤佐久男さんが閉会の言葉を述べ平成２４年度総会は終了しました。（総会資料を参照してください。）

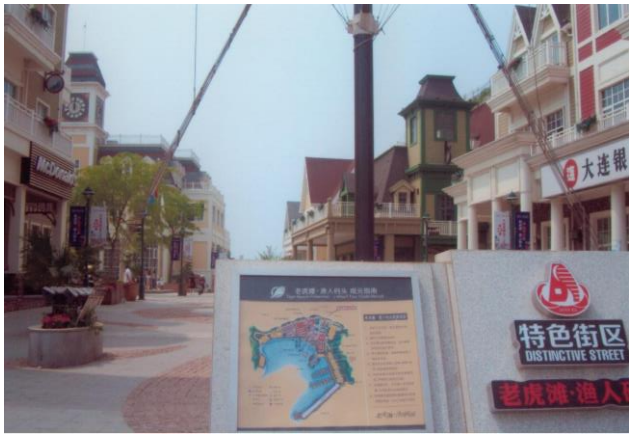
（阿部俊之さん）

（橋本望美さん）

暫時休憩後アトラクションとしてリーダーでケーナ（縦笛）およびボーカル担当の大町亨さん、弦楽器担当の阿部俊之さん、ケーナおよび打楽器担当の橋本望美さんの３人のグループが中南米アンデス地方の音楽「私のリャマ」、「コンドルは飛んで行く」など７曲を熱演、ブラボー・アンコールの声に応えて「ラカナヘーニヤ」を演奏、楽しいひと時を過ごしました。演奏してくださった皆様に花束を贈呈して、午後８時２０分総会は全日程を終了し散会しました。

（大町亨さん（中央））

旅行記



（大連市内）

中国（大連、旅順、瀋陽）一人旅

山元隆雄

今回の旅行は２０１２年５月２８日（月）成田発～６月４日（月）成田帰国の７泊８日の旅でした。今回の旅を思い立ったのは司馬遼太郎の小説“坂の上の雲”を読んで私たちの祖父の時代にあった日露戦争の意味（日本人にとって、また日本国にとってどんな意味があるのか？）を考えたいと思い現地に行ってその思いを確かめてみることでした。旅の計画に当たっては日本語教室に在籍の張泙さんに話したところお姉様が大連に居住されているとの事で現地では大変お世話になりました。また中国語教室の小川ひろ子さまにも現地でメールや現地での面会など勇気づけられました。小生は飛行機の手配と初日のホテルだけインターネットで予約し一週間の旅に飛び出しました。

５月２８日（月）

初めての中国旅行で緊張していましたが大連空港に到着したら張杰（張泙さんの姉）様が出迎えてくれました。初日の夕食に御招待していただき、小川さんにも同席していただき美味しい海鮮を頂きました。

大連・旅順・瀋陽

大連・旅順・瀋陽

大連の第一印象：新しいビルは３０階以上の高層ビルで、２,３階建の古いビルとの混在が中国らしい感じで、街並みも表通りのビル街と裏通りの居住宅との格差が大きく発展途上の感じが強くしました。街全体に砂塵が多く、埃っぽい状況でした。

翌２９日早朝軽いジョギングをしました。街中天津街のホテルから中山広場を経由し港湾広場へ行きＵターンしてホテルに戻りました。朝早くから車が通り埃を巻き上げていました。ジョギングには少し離れた山手に行かなくてはと思いました。

ホテルの移動をした後、午後から老虎公園に行くことにしました。タクシーで１８元でした。（一元＝約１３円、１８元＝２３４円）（ちなみに６月３日バスで行ったら１元でした。バス、電車、電話代など公共料金は安く設定されています。電話１通話０．２元、大連市内のバス、路面電車はどこまで乗っても１回１元）

老虎公園を見た後少し周りを散歩していたら結婚式場か雑誌の撮影か不明だがウエディングドレスのカップルの撮影に遭遇しました。撮影を横見しながら海岸にそって山道を登っていくと立派な木道（幅２．５メートル程）が現れずっとつながっていました。後でわかったのですが総延長２０キロにも及んでいました。はじめは少しだけ歩いて戻るつもりでしたが、周りの景色もよく、アカシヤの花も咲き、良い香りが漂い、いつしか行ける所まで行くことになりました。

（周水空港にて張杰さんと）

北大橋を過ぎ、森林動物園を経由し星海公園まで約１５キロ、４時間のウォーキングでした。星海公園のすぐ近くに建設現場があり見受けるところ超一流のホテルとその関連施設（ミュージーアムなど）を含めどこかのお城みたいな雰囲気の広大な敷地と建造物でした。

完成すれば素晴らしいものになりそうで、見てみたい気がしました。

（急に拡がる西洋建築群）

５月３０日（水）

今日は旅の目的の一つ旅順の見学です。朝８時張杰さんの夫（張曲さん）が運転でもう一人張杰さんの知人韓（戦後東京の大学に在籍経験あり）さんが通訳で同行していただいた。

車は２０３高地を目指して進行１０：３０到着（日露戦争遺跡）駐車場から徒歩で約２０分、頂上にはロケット砲を型取り爾霊山と銘記された慰霊碑が建立されていました。

（203 高地）

この頂上はあまり広くはなく戦場ではなく旅順港を見渡せる場所で港湾をめがけて放射する方向指示場所に成った様だ。ただその場所を占拠するために山頂に陣取るロシア軍に対し下から鉄砲を担いで登って行った日本軍兵士の気持ちを思うと可哀想というより、残念、無念の感が強く感じた。今冷静に考えたらだれもこんな行動を支持したり、行動したりはしないと思う。無謀かつ無残な指示、行動に対し戦死者の方々に対し黙とうの気持ちでいっぱいです。２０３高地の裏側の山裾に野木大将の二男野木保典の墓がひっそりとありお参りしてきました。

そのあと野木大将とステッセル中将とが１９０５年日ロ停戦条約を締結した水師営を見学。

続いて東鶏冠山北堡壘を見学。ここはロシア軍の重要拠点で山中、花崗岩を掘り進み巨大な暗渠を構築し、軍の司令部、宿舎、も兼ねた巨大防空壕です。この重厚な壁を日本軍はすそ野から砲撃し、山を這い上がり銃撃戦を繰り広げ多くの犠牲者を出しながらようやくロシア軍を撃破した様子が思い出される塹壕が見られた。

（東鶏冠山　北堡壘）

１０７年前のことですが当時としては最新鋭兵器で互いに戦ったのですが、今の航空技術、航海技術、最新兵器と比較すると漫画の世界に思われる。もっといえばこれから１００年後を想像すれば今の戦争はすべきでないことがはっきりわかると思います。私にとって若い学生時代は１００年前の出来事は大昔の話だと思い無関心でいました。

が当年７０歳になる今は私の生まれるたった３０年前の出来事であり、身近な問題であることに気付

きました。

以上４か所を見て回りましたが、すべて観光地として開放され特に白玉山は港が見える丘の上公園という感じでした。戦争の恐ろしさを体験できる場所ではなくなった様に感じました。

５月３１日（木）

今日から１泊２日で瀋陽への小旅行です。

大連駅７：４５発　瀋陽北駅行き（新空調軟座）同行者は張杰さんの知人で瀋陽生まれの叶小姐。日本語ができず、中国語の筆談で瀋陽故宮と北稜を案内してもらった。

（大連～瀋陽北間３８５キロ、４時間１５分、料金87元＝約１１３０円、　帰りは高速バスで料金１３０元＝約１６９０円時間は５時間３０分でした）

車窓からの眺めは雄大な山並みと、広大な農地でした。未開地が多く日本人のような文化生活はできないほど自然がいっぱいです。途中４か所に停車したが地方農村都市に思えた。

大連、瀋陽など大都市にひと、もの、かねが集中しているようだ。

遅い昼食は有名な老辺餃子店で３種餃子と小龍包、などを食す。

（沈陽故宮）

そのあと急いで瀋陽故宮に行く。ここは清の始皇帝ヌルハチと息子の太宗皇太極が２代に亘って皇居とした所です。

入場料６０元、私のために雇ってくれた通訳２００元、しかしこの通訳者は片言の日本語しか話せず役立たず。

そのあと北稜公園に行く。公園内にある世界文化遺産の清昭稜（清の２代目皇帝太宗皇太極とその皇后を祀った陵墓（１６５１年建立））を参拝した。入口から墓稜までかなり遠く徒歩で３０以上かかった。当時の権力の象徴か？帰りはシャトルバス（有料）で戻った。

（北陵にて）

翌６月１日（金）

今日は一人で地図を片手に瀋陽を探索。目標は東稜と張氏師府。

朝早く張氏師府を訪れるも開門が１０時と判明。近くの朝市に行くとすごい人でごった返していた。野菜、果物、朝飯、植木、工具なんでもあり、中にはどこかで拾ってきたような部品まで多彩、公園では散歩する人、太極拳、団体でダンスパフォーマンスなどてんでに楽しんでいました。１０時開門に合わせて張氏師府に到着。張作霖氏の当時の権力を象徴するかのような豪邸での執務状況を垣間見ました。入口には張作霖の長男張学良の大きな銅像が建立されていました。

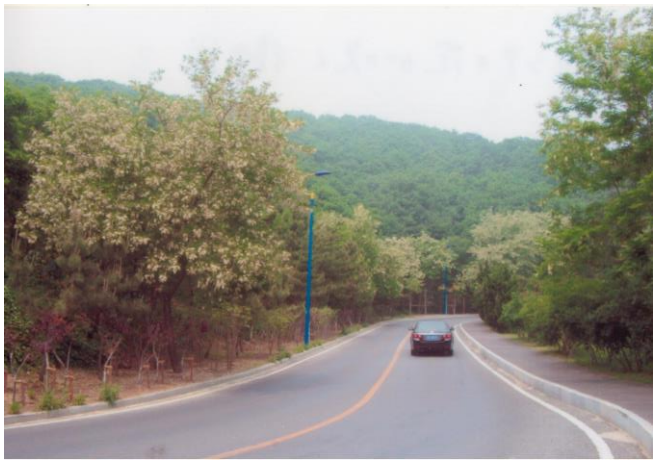
次に世界文化遺産の清福稜（俗称東稜公園）

ここへは叶小姐からはタクシーで行くように教えてもらったのですが、地図を見ると途中まで地下鉄が走っているので、地下鉄とタクシーで行くことにしました。地下鉄で途中まで行き、タクシーに乗る段になって、乗車拒否にあってしまいました。拒否理由はどうやら東稜方面には高速道路のインターがあり車が渋滞しているので商売にならないとの事みたいで４台のタクシーに掛け合っても駄目でした。どうしたらいいものかと思案中にたまたまスクーター

（バイクタクシー）が声をかけてきました。交渉の結果１５元で目的地東稜公園まで行くことになり、運転手の肩に手をかけ乗りました。車の間隙をぬって車道、歩道関係なく、砂ぼこりの中を３０分ほどかけて到着しました。タクシーに乗ったら１時間以上かかったかもしれません。こんな経験は一人旅だからできたのでしょう。貴重な経験でした。

この清福稜は清の太祖ヌルハチとその皇后が眠る墓稜で１６４３年に建立された。

帰りはタクシーがつかまり２５元で地下鉄の駅まで戻り、そこから地下鉄を乗り継ぎ２元で瀋陽北にて下車。高速バス乗り場で乗車券を購入[１３０元＝１６９０円]午後２時出発～午後７時半大連駅着



（アカシアの花が咲く街道）

６月２日（土）

週１回土曜日の午後公演予定の京劇を予定していましたが何かの都合で公演がキャンセルされ看ることができませんでした。現地の話によると最近京劇は人気がなく、特に若者には不人気だそうです。午後は近くの公園に行くことにしました。公園の少し奥に植物園があり、信夫山のような山に池があり、周りに植物が植えてあるだけのシンプルな公園です。特別に温室があるわけでもなく、庶民の憩いの場のようです。

午後１時多忙な小川さんと飲茶を楽しみ、バスにて中山公園に行く。

６月３日（日）

旅行最終日今日は老虎灘までバスに乗り老虎灘から東の方向（２９日歩いた方向と逆方向）に向かい石槽村経由棒種島景区を経て植物園、三八広場に戻るコースでウォーキングしました。このコースも大半が板張りの道でした。今日は日曜日で家族連れやグループで海岸線の休憩所でトランプをしたり、お茶したり、歌を歌ったりし、ピクニック気分を楽しんでいました。途中の石槽村では急に広がる西洋風建屋群（中にはマクドナルドの店も含まれ）には驚かされました。

今回の旅は中国の東北部のまたその一部しか見ていませんが、まだまだ未開の地が広がり開発発展の様子が伺えました。急速な発展のため経済面、教育面、軍事面、改革開放すべての面で無理があり貧富の差が生じているようにも感じました。

共産主義の社会の中でどのように民主的な社会が構築されるのか見たいものです。

まず最初に全員、全市をあげて砂埃の対策をして街中で大きな口を開けて笑えるようにしてほしいものです。

中国語を習い始めて二年、少しは単語も覚え、ピンイン、４声、と勉強してきましたが今回大連で話しかけましたがほとんど解ってもらえずガッガリしました。

これから改めて再スタートします。あせらず、ゆっくり、楽しんでやっていきますのでよろしくお願いします。

（終）

（東陵）

（張氏師府）

予告

中国語会話教室２０周年

中国語会話教室もおかげさまで２０年の節目の年を迎えることが出来ました。

そこで記念の会を催しますので、是非、教室の今昔、学習の成果をご一緒にお楽しみください。

仔細は確定次第ご案内します。

内容：

第１部　教室の今昔

第１期から教室に関わってきた方々に当時を振り返っていただきます。

第２部　学習発表

各教室の皆さんに日頃の成果を披露していただきます。

第３部　ティーパーティー

皆さんで楽しくご歓談ください。

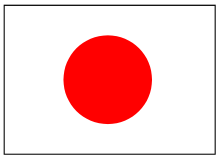
入場無料

予告

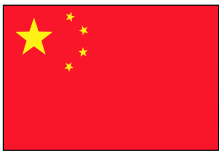
日中国交回復４０周年記念チャリティーコンサート

今年は、日中国交回復４０周年の節目の年に当たっております。そこで当会でも記念のコンサートを予定しております。仔細につきましては改めましてご案内いたしますが、概容をお知らせします。なにかとお忙しい時期かとは思いますが、是非ご参加お願いします。

日時　平成２４年１２月９日（日）
　　午後１時３０分開場
　　午後２時００分開演
場所　福島市音楽堂　大ホール
内容　古箏、中国琵琶、馬頭琴のコンサート
会費　１０００円
　　（一部は福島市へ復興支援のために寄付します。）



お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成２４年度の会費及び各種会費納入のお願い

下記へよろしくお願いいたします。

会費納入について

(1)　郵便局振込みの場合(お近くの郵便局で)
　02220-7-105525　福島日中文化交流会

(2)　銀行振り込みの場合
　振　込　先:普通預金　東邦銀行保原支店
　口座番号:733649
　名　義　人:福島日中文化交流会
　　代表幹事　岩間真弓
　住　　所:〒960-0613
　　伊達市保原町字内町 21-5

(3)　会費について
　法人会員　10,000 円　　個人会員　　3,000 円
　中国人会員　500 円

中国語会話教室からお知らせ

◎　中国語会話教室第40期募集中！

日時:平成24年4月～平成 24年9月
場所:福島市中央学習センター
内容:

入門

講師:岩間真弓　補助講師:劉シン
毎週木曜日午後6時 00 分～7時 00 分

初級

講師:岩間真弓　補助講師:劉シン
毎週木曜日午後7時15分～8時45分

中級

講師:李淑薇
毎週火曜日午後6時 30 分～8時 30 分

費用:一ヶ月 3,000×6 ヶ月＝18,000 円
※一クラス分の授業料で 3 クラス受講可能
※各クラス授業日は都合により変更する場合あり。

◎第78回中国語検定試験開催

日時:平成24年11月25日(日)
場所:福島テルサ
内容:準 4 級･4 級･3 級･2 級･準 1 級･1 級

「当面の行事のお知らせ」

1　花架拳教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)
場所:福島市中央学習センター
内容:護身術である花架拳を演舞する
費用:1 年分　9,600 円(800 円×入会月から)
講師:日本花架拳学会　飯田加寿子

2　健康マージャン教室

日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)
場所:福島市中央学習センター
費用:1 年分　6,000 円(500 円×入会月から)
内容:吸わない･飲まない･賭けない健康なマージャン

3　日本語教室

日時:毎週木曜日 16:00～17:30
場所:福島市中央学習センター

講師募集！

内容:中国人に日本語を教える
＊講師料はお支払いできません。教科書各自負担。

４結いゆいフェスタ

日時:平成24年9月23日(日)
主催:福島市国際交流協会

５福島市中央学習センター文化祭

日時:平成24年9月29日(土)
場所:福島市公会堂

６中国語学習団

１０月末～　遼寧省師範大学へ　８日間行く予定

ホームページ

アクセスしてね。

ブログも書いてね！！

≪編集後記≫

節電の夏、汗をかいて夏らしい夏を過ごしています。暑いなぁ～と思っていても立秋はもう直ぐ、実りの秋に向けてガンバローと言い聞かせています。皆さんからの投稿が一番の励み、よろしくお願いします。　(編集担当)